

(2015年度以降入学2年生向け)

## 微分積分学②・線型代数学②を他クラス聴講する方へ

2019年9月17日

掲題のことについて、2019年度から「微分積分学①」、「線型代数学①」と別の科目となりましたので、S2タームで他クラス聴講した「微分積分学①」、「線型代数学①」と連続したクラスを自動的に履修することにはなりません。

「微分積分学②」、「線型代数学②」の他クラス聴講の手続きが必要となります。

原則的には、自分が所属する科類のクラスを履修します。また、講義と演習をともに他クラス聴講する際には、原則として講義に対応したクラスの演習を履修します。ただし、専門科目の「必修科目」と重複している等、時間割上の都合により別の曜限のクラスの履修を希望する場合は、9月24(火)10:00～10月7日(月)16:50までに教務課3番窓口で手続き(ボードに記入)を行ってください。

その後、教務課で配付する「履修認定カード」に担当教員の許可印(サイン)を得た上で、10月18日(金)までにその控えを教務課に提出してください。後日、UTASの履修登録画面に反映されます。(対象クラスが対応していない講義と演習を履修する場合は、担当教員からサインを得る際に申し出て、かつ履修認定カード欄外にその旨(他方の教員名を含む)を記載して下さい。)

また、S2タームで「微分積分学①」、「線型代数学①」の他クラス聴講の手続きを行っていなくても、Aセメスターから「微分積分学②」、「線型代数学②」の履修をすることが可能です。

<休学し、今年度Aセメスターから復学する方へ>

2018年度以前にS2タームで「微分積分学①」、「線型代数学①」を履修し、中間試験を受験した後に、Aセメスターを休学し、今年度のAセメスターに復学して「微分積分学②」、「線型代数学②」を履修する学生は、「微分積分学①」、「線型代数学①」の成績の扱いについて、教務課までご相談ください。

《参考》『履修の手引き』記載内容の変更(数理学に係る変更について)

<http://www.c.u-tokyo.ac.jp/zenki/news/kyoumu/20190318suurikagaku.pdf>

以上